

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	30	1	基本事務事業名	青少年育成センター事務	事務事業名	青少年育成センター事務	公的関与	4	シート作成日	平成21年6月3日					
	部局名	教育委員会		課名	青少年育成センター	主務課長名	江本豊		シート作成者名	岡本正和						
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(5) 青少年の健全育成			<input type="radio"/> 1 該当		平成		年	~	平成		年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(2) 健全な社会環境づくりの推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内青少年												
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	青少年にとって住みよいまちづくりと青少年の非行防止と健全育成を図ります。											
				今年度	補導活動を通じて、青少年の非行防止を図り、健全育成に努めるとともに、環境浄化と子どもたちにとって住みよい環境づくりに努力します。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 警察、関係機関との連携により補導活動															
	② 青少年の健全育成															
	③ 環境浄化活動を通じて、有害図書類の回収															
	④ 相談活動(青少年、保護者及び関係機関)															
	⑤ 非行防止や健全育成を図るための広報、啓発活動(最近の社会情勢や青少年による凶悪犯罪等を踏まえて)及び補導員等の研修会の開催															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標							
	補導活動回数	補導回数により指標を測る		回	目標	65	59	57								
					実績	57	57									
	有害図書類の回収	市内4ヶ所に設置している月2回		回	目標	48	48	42								
					実績	48	42									
	防犯教室の開催	小中学校を巡回		回	目標	7	10	10								
		実績	7		9											
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	青少年育成センター			
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考										
	直接事業費	国庫支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		県支出金	100 千円		0 千円		300 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	2,409 千円		2,635 千円		3,218 千円									
		計(A)	2,509 千円		2,635 千円		3,518 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	6,119 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
		臨時・嘱託職種	青少年センター指導員		青少年センター指導員		青少年センター所長									
		臨時・嘱託工数・経費	2.000 人	3,792 千円	3.000 人	5,688 千円	3.000 人	5,688 千円								
	全体事業費(A+B)		12,420 千円		8,323 千円		9,206 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	青少年の非行、犯罪は増加傾向にあり、凶悪犯罪や親に対する犯罪も増えてきています。また、不審者の出没も増加しています。このようなことから青少年が大きな事件に巻き込まれる恐れが生じているため、街頭補導や市内の巡視が必要になっていきます。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	街頭補導、長期休業中その他催し開催時に合同補導、巡回指導や啓発活動を行うことにより効果を上げています。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	補導件数は0件、相談件数25件と減少しているが、不審者による被害案件が増加しています。ホームページで情報を提供し気をつけるよう呼びかけをし、注意を促しています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	最近の青少年犯罪を見ると凶悪犯罪の低年齢化が進んでいます。地域環境の変化に対応できるような体制づくりをしていかなければなりません。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		3	4	3	3	A	4	4	3	3	A			
	今後の方向性	● 拡大・充実 ○ 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等		● 拡大・充実 ○ 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等		● 拡大・充実 ○ 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等		● 拡大・充実 ○ 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等		● 拡大・充実 ○ 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等				
		○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止				
当面の課題	特に、凶悪犯罪が低年齢化している。親子間の意思疎通がうまくいかないため、子が親に凶行をふるっているのが現状であります。青少年の心の変化をいち早く捉え、地域をあげて、問題を抱える青少年に援助、指導助言が与えられる体制づくりをする必要があります。又、青少年の就労支援もセンターの課題であると思えます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	非行の低年齢化、凶悪化するなかで、きめ細かな対応ができる体制づくりが必要であります。地域住民及び地域安全会等関係団体と連携を密にして地域の防犯パトロールを実施するとともに、不審者情報にいち早く届き対処できる連絡網を構築しなければなりません。就労支援についてはハローワーク等と連携を図りながら、指導員の理解と協力を求めて進めていきたいと思えます。					さらに事業を推進します。								
委員会指摘事項														